

《担当者名》 竹生 礼子 take-r@hoku-iryō-u.ac.jp 川添 恵理子 御厩 美登里 増田 悠佑 大友 芳恵

【概要】

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護を総論的に学ぶ。

【学修目標】

1. 在宅看護の特徴を理解するために、在宅看護の歴史や理念、および在宅看護を必要とする社会情勢を学ぶ。
2. 在宅看護を発展させる看護職の役割を理解するために、地域包括ケア、継続看護、多職種との連携、チームアプローチの重要性について学ぶ。
3. 在宅看護の対象者の多様なニーズを学び、療養者及び家族の理解と援助のポイントを理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	概論(1)	在宅看護の理念・目的、在宅看護の特徴	竹生
2	概論(2)	在宅看護活動の歴史の変遷、在宅看護を必要とする社会的背景	竹生
3	概論(3)	在宅で療養する人々を支える諸制度と社会資源、訪問看護制度	竹生
4	概論(4)	在宅看護の対象者の特徴	竹生
5	在宅療養者の健康と生活の理解(1)	在宅療養者の理解の視点 ICFと3つのLife(命・生活・人生)	竹生
6	在宅療養者の健康と生活の理解(2)	在宅療養者の健康の理解	竹生
7	在宅療養者の健康と生活の理解(3)	在宅療養者の日常生活の理解	増田
8	在宅療養者の健康と生活の理解(4)	在宅看護における家族のとらえ方と家族援助の視点	御厩
9	在宅療養者の健康と生活の理解(5)	在宅療養者の家族の理解	御厩
10	在宅療養者の健康と生活の理解(6)	在宅療養者の住環境と地域の理解	増田
11	在宅看護と地域包括ケア(1)	地域包括ケアシステムと多職種連携	川添
12	在宅看護と地域包括ケア(2)	療養の場の移行に伴う看護・継続看護マネジメント	川添
13	在宅看護と地域包括ケア(3)	在宅看護とソーシャルワーカーの連携	大友
14	在宅看護と地域包括ケア(4)	地域における在宅看護活動の実際 ～在宅で療養する小児と家族を支援する訪問看護実践から～	くまさんの手(特別講師) 竹生
15	在宅看護学の総論的まとめ	まとめ	竹生

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

在宅ケアに関するレポート10%、定期試験90%

レポートの評価後、コメントを記載し次年度はじめに各学生に返却する。定期試験結果は、評価公表後期限を設けて教員室にて回答を閲覧できるようにする。

【教科書】

櫻井尚子・渡部月子・臺有桂：ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2019

【参考書】

スーディ神埼和代編：在宅看護学講座。ナカニシヤ出版，2012。

押川真喜子監修：写真でわかる訪問看護 訪問看護の世界を写真で学ぶ。インターメディカ，2007。

押川真喜子：在宅で死ぬということ。文春文庫，2005。

柳田邦男・川越厚著：家で生きることの意味 - 在宅ホスピを選択した人・支えた人，青海社，2005。

中山あゆみ著：病院で死なないという選択 - 在宅・ホスピスを選んだ家族たち，集英社，2005.

【学修の準備】

指定した教科書の該当ページを事前に読んでおくこと（予習45分）。講義で触れた内容について、教科書の該当ページを読んでおく（復習45分）。教科書 にあげた図書を読み、感じたこと、在宅療養を支えるために学びになったことについてレポートを作成する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1, 4

【実務経験】

竹生礼子（保健師・訪問看護師・介護支援専門員）

川添恵理子（看護師、保健師、訪問看護師、退院調整看護師、介護支援専門員、地域看護専門看護師）

御厩美登里（保健師・訪問看護師）

増田悠佑（病棟看護師・訪問看護師）

大友芳恵（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関・訪問看護事業所・介護施設および行政における実務経験に基づいた教育を行う。